



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Build The Future with Action and Vision

築け未来を行動力と先見の眼で

1996~97年度・国際ロータリーのテーマ/ルイス・ピセンテ・ジアイ会長

◎本日の例会

6月27日/第517回例会

◎卓 話

「退任のご挨拶」

会 長 河 原 勢 自

副会長 保 森 登

幹 事 荒 木 昭 文

「退任のご挨拶」

会 長 河 原 勢 自

皆様のご協力を頂き、一年間、会長を務めさせて頂きました。本当に有難うございました。

色々の事業が予定された一年でしたが、私なりに何が一番大切なのかを考えました。

当クラブは創立4年目に田辺ガバナーを擁して地区大会を挙行了しました。難事業ではありましたが、あの時は、全会員が一丸となって戦ったことで、友人の域を超えて、同じ釜の飯を喰った戦友として連帯感を持てたのであり、それがその後の活動の原点となったことを想起しました。私は、本年度、全ての行事を全員参加で実行すれば、かつて我々が共有した連帯感を更に強固にすることが出来るのではないかと希ったのです。実際に全員参加は実現できたように思います。

就任の折、私は「会長とは年代物の盆栽を一年間預ることであり、一年だけは年輪を加えて元の姿でお返ししたい」と述べました。そう出来たか否か忸怩たる思いがしております。お誕生日のメッセージでは、私としては心の中で一人一人に出来るだけ近づき、私の思いを贈らせて頂きました。心情的に皆様これ程近づくことができたことを感謝しております。理事役員の方々、田辺さん、会員の皆様、事務局の山中さん、本当に有難うございました。私は職業柄、様々な人を見て来たつもりでしたが、荒木幹事のような底知れない誠意で人につくせる人に初めて逢いました。新しい発見でした。一年間貴重な体験をする機会を頂いたことを心より感謝してご挨拶とさせていただきます。

副会長 保 森 登

今年度は10周年行事にIM当番も加わり誠に充実した1年であり、我々のロータリアン精神は昂揚しました。これは河原会長、荒木幹事を始め皆様が一体となって御尽力された賜であります。副会長に任ぜられた私は、特にこれといったこともなしえず一年が過ぎました。クラブ奉仕の方も各委員長が頑張られた御蔭で何とか合格点を戴けたのではと自負しております。今年はIMのパネルディスカッション、田辺パストガバナーの10周年記念講演、そして渡邊 治会員によるポールハリス追悼卓話等により、改めてロータリーの理念についてその沿革と原点を学ぶことを得、大きな収穫でありました。ただ、ロータリー主流の理念は今後も不変であってよいものか

どうか、社会の状況が変れば、これに応じて変るべきではないかと私は考えます。いま日本社会は高齢化が急速に進んでおり、これからは年寄も元気な人は、若い人を助け、老いも若きも一体となって社会奉仕していかないと社会が運行していかないとされます。そして個人の力は弱いのでロータリークラブでまとまってやれば、社会の人々から評価されると思います。ロータリーの金看板は職業奉仕と云われますが、いま企業社会の在り方が問われており、額に汗して働く庶民感覚になじまない点もあり、これからは「皆でやろうよ社会奉仕を」をロータリーの金看板とすべきではないか、その時が到来しつつあるように思います。

幹 事 荒 木 昭 文

クラブ創立10周年の大切な節目の年に当り、河原会長が「創立の原点を見つめて——過去を振り返り、未来を築こう——」と提唱された本年度も、本日の例会をもって幕を閉じることになりました。

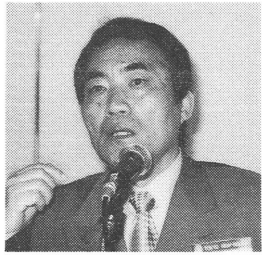
この一年間を振り返った時に、幹事として会長の補佐が十分に出来たのだろうか、会員皆様の活動の繋ぎ役が十分に出来たのだろうかと深く反省しております。誠に頼りない幹事にも拘らず、本日を迎えることが出来たのも、河原会長をはじめ田辺アドバイザー、理事・役員の方々・会員の皆様、そして事務局の山中さんのお蔭と心より感謝をし、お礼申し上げる次第でございます。

就任のご挨拶の時に、クラブに対する愛着心のお話しをさせて頂きましたが、IM行事・10周年行事では全会員がその準備に参加し、それぞれの役割を果たされた奉仕の場面を見て、これこそ正にロータリークラブの姿であることに感動し、自分が東京新南ロータリークラブの会員であることに誇りと感謝をし、益々クラブへの愛着心を深めることが出来ました。

このような感動の機会を与えていただきましたクラブにそして皆様に深く感謝を申し上げましてこの一年のお礼とさせていただきます。

◎先週報告

6月20日/516回例会
18:00~20:00



阿久 悠氏



回夜間例会/レディス・デー 卓話「歌は時代を語り続けた」 作詩家・作家 阿久 悠氏
回次期親睦活動委員会(小杉副委員長) 7月火曜会について

新年度初の火曜会を7月1日(火)17:30~全日空ホテル37Fアストラルにて開催致します。
「クラブライフを語り合おう」の新年度のテーマのもと、パネラーを四分一会員(90~91年度親睦委員長)にお願い致しました。大勢のご参加をお待ち申し上げております。

回慶事披露●お誕生日祝/沖 宏之君・川鍋二郎君(6月21日)
平井逸夫君(6月24日) ●100%出席/村山公士君(2年)

回出席報告●会員69名・出席36名・欠席33名(出席規定免除者2名)
ご家族(8名 敬称略・順不同)/平井恵子、石束陽子、岩瀬和子、
河原和加子、小澁久美子、小杉式子、佐藤悌子、吉田克枝
ゲスト/市川左團次氏(佐藤会員ゲスト)、児島 俊氏(阿久 悠氏ゲスト)

ニコニコBOX

順不同・敬称略

6月20日/13件35,000円

本年度累計 2,496,888円

多額のご寄付を有難う
ございます。

小澁雅亮/阿久 悠先生、本日はご多忙のところ有り難うございます。河原勢自/本年度最後のレディースデーです。嵐の中ようこそおいで下さいました。また100%出席のお祝い有り難うございます。武下 朗/台風にもめげず奥様がたご出席有り難うございます。沖 宏之/誕生日祝い有り難うございます。やっとなり70才になりました。平井逸夫・川鍋二郎/誕生日祝い有り難うございました。また河原会長の素晴らしいメッセージに感激いたしました。石坂二郎/川崎RCで卓話をさせて頂きバナーを交換して来ました。山下忠治/斉藤さん、平井さん写真を有り難うございました。大日方 真/平井さん写真を有り難うございました。小杉眞史/久し振りに家内がお世話になります。宮川弘信/受付の係なのに少し遅刻しました。申し訳ありません。石束嘉男/久方振りに皆様にお目にかかれて幸せです。岩瀬秀郎/本日は「愚妻」でなく「賢妻」をつれて参りました。

●ロータリー用語早わかり

■シェア・システム(Share Syatem)……………シェア・システムは、ロータリー財団プログラム補助金を世界に配分する機構で、ロータリー財団への寄付は、シェア・システムを通じて、国際親善奨学金、人道的な国際プロジェクトのための同額補助金、研究グループ交換その他に姿を変える。すべての地区の年次プログラム基金への寄付は、二つの活動資金に分けられる。地区の年次プログラム基金への寄付の60%は、地区財団活動資金(DDF=District Designated Fund)となる。残り40%の国際財団活動資金(WF=World Fund)は、財団管理委員会の裁量で使途を決める。

■ポリオ・プラス(Polio Plas)……………ポリオ(小児マヒ)を全世界から追放するため、ユニセフ、WHOなどの国連機関と提携推進中のロータリー財団のプログラムの一つ。ポリオのほかハシカ、ジフテリア、結核、百日ぜき、破傷風の5つの主要伝染病をプラスして、同時追放を目的としているためポリオ・プラスと呼んでいる。当初の募金目標は米貨1億2,000万ドルであったが、実績は米貨2億4,000万ドルを超えた。RIは1995年ベネズエラ・カラカスでの規定審議会において2000年までにポリオを一掃し、ロータリー創立100周年にあたる2005年までにポリオの撲滅を証明することがRIの最優先事項であると支持、是認した。

—「ロータリーの友」6月号より—

6月臨時理事会議事録

と き/97年6月20日(金)

夜間例会前17:20~17:40

ところ/東京全日空ホテル B1 八雲の間

出席者/河原、青野、平井、武下、保森、
渡部、加藤、大日方

決議事項

1. 新会員候補者1名の推薦受付を承認。
2. 退会希望の件/柳澤昭雄君 業務繁忙のため同君の退会を97年6月30日付けで承認。
3. 出席免除規定適用の件 /清原元輔君 病气入院のため、クラブ定款第7条第3節(a)により97年6月13日より当分の間同君の出席免除規定を適用することを承認。

報告事項

1. 地域社会調査委員会報告

◎次週予告

7月4日/第518回例会

回卓話予定

「就任のご挨拶」

97~98年度 会長 武下 朗 君

97~98年度 副会長 山下 忠 治 君

97~98年度 幹事 渡部 一 元 君

本号をもちまして、本年度会報委員会の担当は終了いたしました。一年間のご協力とご愛読を感謝申し上げます。

(クラブ会報委員会)

東京新南ロータリークラブ

会長:河原勢自 副会長:保森 登 幹事:荒木昭文

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

山下 忠治、大村 富俊、伊部 和夫、
大日方 真、柴藤清三郎、相澤 成憲、
島田 昌雄、村山 公士、川鍋 二郎、
関 征春、宮本 正祥、岩瀬 秀郎

(編集担当順)